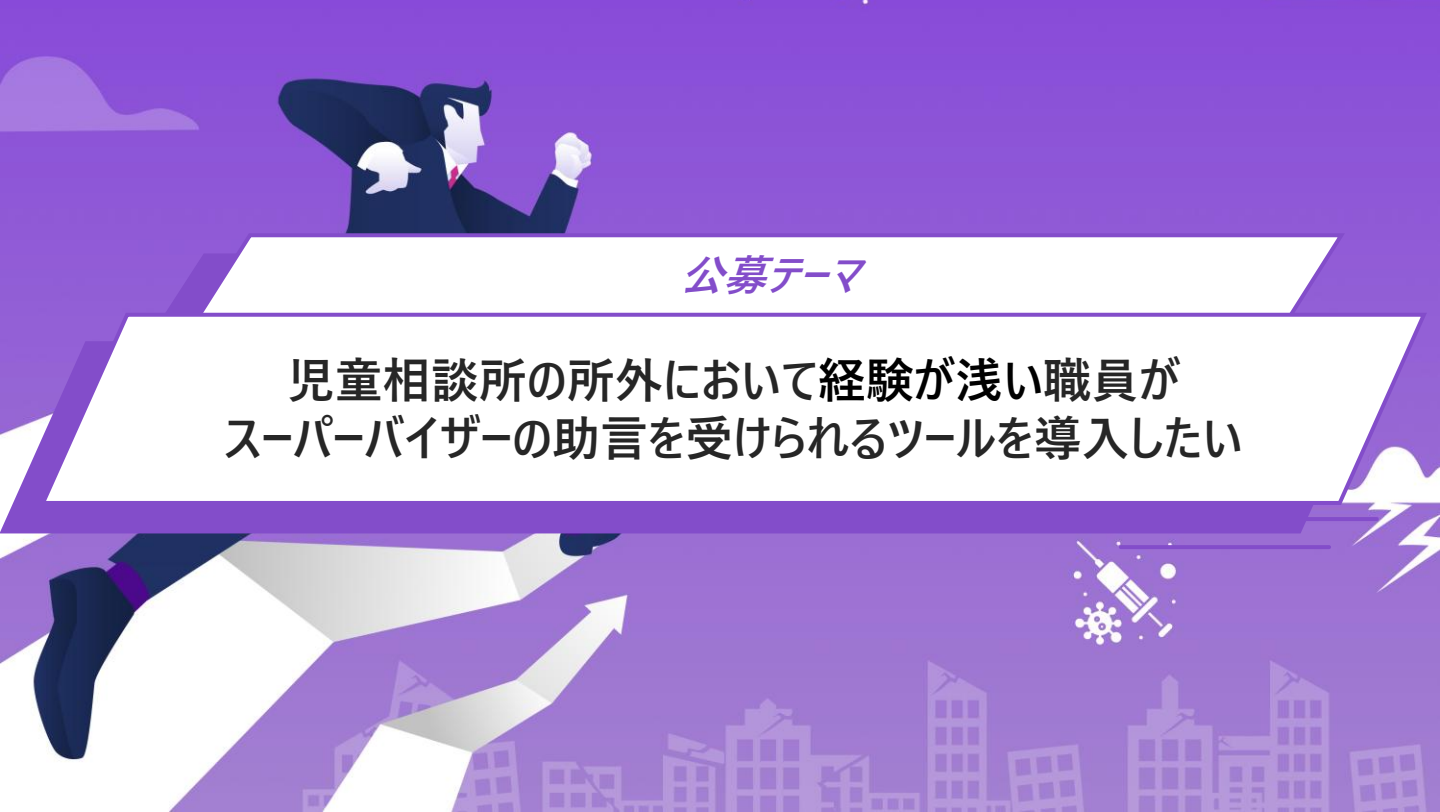




公募テーマ

児童相談所の所外において経験が浅い職員がスーパーバイザーの助言を受けられるツールを導入したい

背景・課題

■具体的な課題

児童相談所の所外で経験が浅い職員が保護者と面接する場合、その場でスーパーバイザーの指導・助言が受けられず、適切に判断・対応できる体制の整備が求められている。

■背景

電話相談の場合はAIマイニングの導入により、通話内容のリアルタイム共有や指導を可能にする体制を構築しているが、業務の多くを占める所外での面接時にはそのような体制は整備されていない。

■影響

所外での面接時に、状況の見立てや判断の確認に時間を要し、面接の進行に影響が生じる場合がある。

解決方針

児童相談所外での面接時にもスーパーバイザーの助言を受けられるツールを導入。

期待する成果

ツール導入により面接・訪問での聴取漏れを防止するとともに、保護者にとっても効率的で有意義な面接とすることができる。

諸条件

- 導入時期：令和8年度内にツール導入に向けたシステムを構築するとともに、令和9年度にツールを試行。効果検証を踏まえて、規模拡大を検討。
- 導入規模・
対象施設：1児相（児童福祉司25人、虐待対応件数 約1,800件（R7））

予算規模

大規模型（上限3,000万円）

想定スケジュール

- 募集期限
10月14日（水）17時まで
- ピッチ形式の面接審査（書類審査を通過した企業のみ）
10月下旬頃
※書類審査を通過した企業には、別途日程の詳細をご連絡いたします。
- 契約締結
11月下旬

現場からのコメント

- 留意事項・希望事項
 - ・訪問先でテザリング等の手間なく、すぐに機動・活用できること。
 - ・クラウドを利用する際、セキュリティがVPN等にて確保されていること
 - ・児童相談所での活用実績があること

現場情報

福祉局
子供・子育て支援部家庭支援課

児童相談所では、すべての子供が心身ともに健やかに育ち、子供の権利擁護のもと、その持てる力を十分に発揮できるよう、子供や家庭と一緒に考えながら必要な支援を行います。